

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第146回 「人生の寂しさ、というのは、自分の求めているかかわりを他の人からもらえない」

こころの相談員 渡邊 裕子

人が人に求めるかかわりの過不足が、人生の豊かさを決めるとも言われています。もしそうであるならば、気持ちの良い人間関係とは、自分が求めているかかわりを他人から与えられ、また自分も相手の求めているかかわりを、おしみなく与えるような関係ではないでしょうか。

そのためには、自分がどんなかかわりを求めているかを知るところから始めます。自分が求めているかかわりを知ることで、周りの人とどう付き合っていけば良いのかが分かってきます。そして、自分が求めるかかわりを相手に求めるよりも、自分のかかわり方を見直し、変えていきましょう。自分のために自分で人間関係を作っていく気持ちが大切です。その気持ちが互いに尊重し合えるあたたかな関係へと変化していくと思います。

私たち大人の良好なかかわりが循環する環境で育つ子どもは、そのかかわり方を、子ども同士のかかわりの中で生かし、人間関係を築く力をつけていきます。

子どものために思い、多くの言葉をかけるよりたった一言、求める言葉を伝えるだけで、こころは十分に満たされます。互いの信頼関係を築くことになるのです。

寂しさを知るからこそ、人のあたたかさに感動できるのです。人とかかわりを持つことに幸せを感じてもらえるように育ってほしいですね。

※渡邊相談員は、あさひ園・育児相談で相談を行っています。

あさひ園で、5歳児と高齢者の多世代交流事業を行っています！



園児とおじいさん、おばあさんが、けん玉やお手玉、あやとりなど、昔の遊びを一緒に行い、楽しい時間を過ごします。



※写真は昨年度のものです。